

(4) 当該年度の実施内容	〇1年度の事業内容	〇2年度の事業内容	〇3年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 ➡			

事務事業名	緑化推進事業	事務事業No.	40105000804	所属課	農林課
-------	--------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？

住民の緑化に関する意識の高揚と啓発を図り、緑豊かな郷土づくりを目指して開始した。

(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？

特になし。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）	
	☒ 結びついている	活動を通して、子供たちに自然の大切さを伝えることができるため、自然環境の保全に結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）	
有効性	☒ 妥当である	緑化推進機構が定める実施要領に基づいて実施しており、また自然愛護や環境保全の観点からも適正である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）	
	☒ 向上余地がない	募金額の減少が緑化推進活動費の減少につながっている。
効率性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）	
	☒ 影響有	子どもたちが緑化活動に関わる機会が減る。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） ☐ 具体的な手段、事務事業名	
公平性	☒ 余地がない	特になし。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）	
	☒ 削減余地がない	募金額により緑化推進事業を行っており、事業費は人件費のみである。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
	☒ 公正・公平である	学校が集めた募金額に応じて、学校に緑化推進活動費が分配、活用されるので、適切である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点） 緑化推進機構と各学校の中継役として、適切な事務を行っている。																								
①目的妥当性	■ 適切 □ 見直し余地あり	⇒																								
②有効性	■ 適切 □ 見直し余地あり																									
③効率性	■ 適切 □ 見直し余地あり																									
④公平性	■ 適切 □ 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 （終了・廃止・休止の場合は記入不要）																								
□ 終了 ■ 継続 □ 廃止 □ 休止 □ 改革改善を行う ■ 現状維持 (複数回答可) □ 目的の再設定 □ 有効性の改善 □ 統廃合ができる □ 効率性の改善 □ 公平性の改善 □ 連携ができる		<table><tr><td colspan="2"></td><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><td colspan="2"></td><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td>✕</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>✕</td><td>✕</td></tr></table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	✕	低下		✕	✕
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		○	✕																						
	低下		✕	✕																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																										
		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果	⑧																							
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 ☐ B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 ☒ 確認